

JAGAT*inf*

ジャガット インフォ



特集

印刷会社のビジネスを広げる
新たなメディア展開

特別企画

page2014のテーマは
「始動！
コミュニケーション・ファクトリー」

Tech In

デジタル出版向けコンテンツ管理システム
Publish MakerX

Publish MakerX

株式会社サイバーテック

サイバーテックはXMLデータベース国内市場首位の企業として、2013年9月で創業15周年を迎えた。事業の柱として、以下の3つがある。

①XMLデータベース「NeoCore」と関連製品の提供による、企業内コンテンツ管理・ドキュメント管理・ナレッジ管理への貢献。

②Webサイト最適化サービス（SEO内部対策・スマホ対応・CMS導入サービスなど）の提供による、顧客接点強化とサイト訪問者数増加の支援。

③国内でのシステム開発および、フィリピン・セブ島での自社拠点を活用した、オフショアITアウトソーシングサービスの提供。

③は2006年よりフィリピンのセブ島に自社オフショア拠点を開設し、7年間の運営実績がある。一定水準をクリアして採用された現地社員は、データ変換・移行などの単調作業を得意とするが、コーディングの学習にも積極的である。

また、印刷・出版業界の方々には、「NeoCore」を自動組版ソフトと組み合わせ、カタログやマニュアルの制作・管理の効率化の場面で特に愛用されている。

増大する社内文書管理の課題への布石

近年、コンテンツ管理/文書管理に関してお客様から、「社内文書が散在し、活用どころか探すことにも不便を感じている」「文書管理の作り手側として、一元管理により制作効率化をしたい」「生き残りをかけて、自社コンテンツを戦略的に活用したい」といった声を聞くことが増えている。

このような課題を抱えているお客様は、現場の業務効率化にとどまらず、早急な経営課題と捉えてトップダウンで推し進められるケースが多い。

印刷・出版業においては、従来のDTP制作フローから脱却した制作の効率化とともに、電子媒

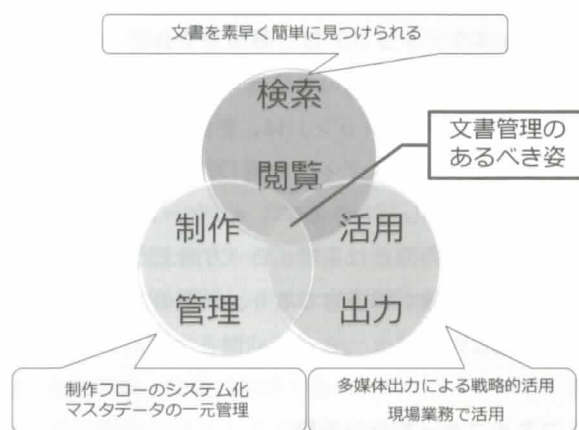


図1 文書管理のあるべき姿

体へのワンソース・マルチユースの必要性が高まっているのが昨今の流れである。

当社はXMLデータベースのトップシェアカンパニーとして、お客様に対して、より早く、安価にXMLのメリットを感じてもらいたいと検討を重ね、出版コンテンツ管理に特化したパッケージ製品を自社開発することを目指した。その結果、XMLデータベース「NeoCore」を組み込んだパッケージ製品である「Publish MakerX」を提供することができた。

「Publish MakerX」は既に大手専門書籍出版社が導入しており、従来の制作フローを変え、効率化を実現した。さらに今後はコンテンツの共通部品化を行い、電子媒体に二次利用する動きに向けて検討が進んでいる。

文書管理効率化を実現。安価で短期導入、XMLデータベース組込みによる拡張性に自信

「Publish MakerX」を一言で表すと、Webブラウザから入稿、編集ができるコンテンツ管理システムである。

主な対象は、構造化された文章もののコンテン

ツ管理である。具体的には、その対象として出版物、業務規程集、専門書籍、学習参考書、論文、社内報、操作マニュアルなどが挙げられる。

「Publish MakerX」の特長は、大きく3点ある。

1点目は、コンテンツの制作フローをシステム化することで制作、管理の大幅な効率化を実現する点である。具体的には、コンテンツの入稿、編集機能、コンテンツの流用や版管理、素材管理機能を搭載している。さらに、コンテンツの多メディア展開、社内共有を可能にするためのデータ出力機能を標準で搭載しており、出版物の制作においては、印刷物だけでなくWebコンテンツや電子書籍などに容易に展開することができる。内部的にXMLという汎用的なデータ形式で保持されることがこれを可能にしている。もちろん、インターフェイス上の操作では専門知識は不要であり、XMLを意識することなく使用できる。

2点目は、パッケージ製品なので早期に低コストで導入が可能な点である。具体的には、初期導入費用は350万円～、導入期間は3カ月～となっている。クラウド環境での動作も確認しており、サーバーを用意することなく利用することも可能である。

3点目は、XMLデータベース「NeoCore」を組込んでおり、拡張性に優れている点である。具体的には、一つのパッケージの中で、複数の異なる出版物（紙、電子、Web問わず）のコンテンツを管理することができる。コンテンツの構造や管理したい属性が異なっても、別々にシステムを作る必要がないという点で、システム投資の面で非常にメリットがあると考えられる。

「Publish MakerX」導入メリットと活用イメージ

「Publish MakerX」の各業種における活用イメージを下記に紹介する。

1. 出版コンテンツ管理（出版社）

昨今の出版コンテンツ制作においては、以下のような課題がある。

- ・出版物のデジタル化対策のための、コンテンツの戦略的活用が急務。
- ・制作・業務フローの効率化、制作コストを削減したい。
- ・DTPによるデータ管理から、いかにデータベー

ス先行の多媒体展開向きの管理方法へ移行するか、その移行方法が分からない。

- ・出版物に関連する「著作権情報」「書誌情報」などがデータベース化されておらず、社内でも共有できていない。

上記の課題に対して、「Publish MakerX」は、XMLデータベースによるコンテンツの一元管理という解決策を提供する。

「Publish MakerX」は、コンテンツデータベースと素材サーバを内蔵しており、さまざまな形式のデータを登録することができる。例えば書籍の構成（章・節・項…）、属性（著作権情報）、本文テキスト、参考文献、キーワード、図表（画像）、写真、動画、ドキュメント（MS Word、MS PowerPoint、MS Excel）なども管理可能である。

特筆すべきは、印刷物の組版のみを前提とするデータ管理とは異なり、Web・電子書籍などの電子媒体への展開可能な出力データ形式となっている点である。

- ・コンテンツの一元管理と自社囲い込みによるコンテンツの戦略的活用が可能
- ・システム導入に伴う制作、業務フローの整備による効率化と制作コストダウン
- ・DTPデータによるマスタデータ管理からの脱却

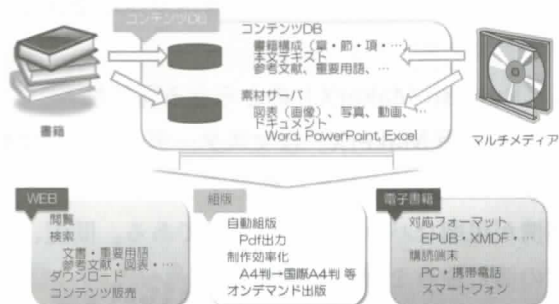


図2 専門書籍出版社様導入事例

2. 業務規程集の管理と共有（金融ほか）

「Publish MakerX」は、企業の業務効率化とリスク低減のための業務規程ドキュメントや業務マニュアル、事務手続きマニュアルなどの「企業内文書」の作成とデータベース化を可能にする。なお、XMLデータベースは、銀行業務などの規程集管理システムに実績がある。

<閲覧側>

「Publish MakerX」で作成した業務規程集を、Web展開することにより、ポータルサイトから目当ての業務規程を俊敏に探し出し、業務に活用することを可能にする。閲覧側のシステムは、全文

検索エンジンをベースとしたナレッジ共有システムによって実現する。

<作成、管理側>

「Publish MakerX」を使ってWebブラウザから入稿編集をし、一元管理によって1カ所の改訂を、全文書に反映させることができる。

版管理の機能により、新旧のマニュアルの管理が可能となる。

3. マニュアルコンテンツ管理（製造業）

マニュアルコンテンツ管理の現状を見ると、製造業においては海外拠点を含むマニュアル共有（図面管理、技術文書など）が課題となり、多言語翻訳も必要である。さらには紙媒体だけでなく、現場でのタブレットからの閲覧など、多様な媒体への展開が求められている。

「Publish MakerX」は、マニュアルコンテンツをデータベースで一元管理することによりマニュアル制作担当者および管理者の利便性を高めることが可能である。それだけに留まらず、XMLという柔軟なデータ形式で出力することにより、多言語翻訳メモリやPLM、図面管理システム、基幹システムなどの既存システムや、多媒体への展開を行うアプリケーションへの連携が容易にできるのが特長である。

4. 「Publish MakerX」のさらなる可能性

「Publish MakerX」はマスターデータ制作や管理の側に強みを持ち、他アプリケーションとの連携が可能なパッケージソフトである。閲覧、検索の側に強みを持つ全検索エンジンや、ナレッジ共有サーバーと相性が良く、コンテンツや文書管理システムの導入を検討する際は、このようなトータルでのシステム提案を行うことが、システムベンダーや印刷会社側に求められる。

「Publish MakerX」の機能

1. Web コンテンツ入稿/編集機能

Webブラウザから、テキストや画像・図表などの入稿編集をするが、各コンテンツを部品として管理する。そのため、1カ所の差替えて、その部品を使用した全文書に反映することができる。

コンテンツは部品単位で流用・複製・移動ができ、構造化された文章ものの制作に最適である。

2. コンテンツ属性管理機能

各部品には属性の登録ができ、部品同士の紐づ



図3 Publish MakerX テキスト登録画面



図4 Publish MakerX 検索結果画面

けや、属性による検索ができる。検索は、テキストや画像・図表、テキストを階層構造にまとめた「マップ」を横断して可能である。

3. ワークフロー機能、ユーザ/グループ管理機能

コンテンツの内製化、内部管理に必須な、ユーザ管理、アクセス制御、ワークフローの機能を標準で提供する。

4. 版管理機能

コンテンツの版管理機能を標準で提供している。これによりコンテンツの新旧対照といったことが実現できる。

5. データ出力機能

XMLデータベースから、お客様の要望に合わせたさまざまなデータ形式で出力することが可能。csvに出力しWeb-CMSと連携する、別のXMLに出力して自動組版システムに流し込む、HTML形式に変換してWebサイトに配信するなど。

機能 項目	詳細	基本 機能	カスタ マイズ
コンテンツ 管理	文書、図表単位（トピック）で管理・作成する。 一つの文書を複数のマップで使用でき、文書部品を共有化できる。	●	
	文書部品を自由に組み合わせて、マップという単位で管理する。 マップは、トピックを階層的に管理できる。	●	
	トピック・マップ・図表には、様々な属性が付けられる。	●	
	テキストデータは、テキストファイルではなくデータベース内に安全に保管される。	●	
	トピック・マップ・図表を、登録した属性から検索する事ができる。	●	
	トピック・マップの全文検索ができる。	●	
	管理したい属性を追加変更できる。		●
図表 管理	コンテンツ内で使用する図表素材（属性の付与も可）の登録ができる。	●	
	コンテンツに紐着する外部素材や文書（Word/Excel等）・動画を、関連素材として登録ができる。	●	
	図表から、使用元のトピックを参照できる。	●	
エディタ 作成機能	インストール不要で、Webブラウザのみで作成編集が可能。 また、インターネット経由で作成・編集・閲覧ができる。	●	
	操作しやすい編集エディタがあり、見た目のままに確認できる。	●	
	適宜に作成した文書部品を再利用し、新規文書を作成できる。	●	
	トピック編集画面の入力項目の、追加やカスタマイズができる。		●
出力 システム連携	マップの、Pkgでのプレビュー（閲覧プレビュー）機能がある。		●
	PDF・組版システム・Web等、様々な形式へのデータ出力ができる。		●
	マスターデータをXMLデータベースで一斉管理する。 Web・タブレットへの活用が容易に可能。	●	

図5 Publish MakerX 詳細機能一覧 (1)

機能 項目	詳細	基本 機能	カスタ マイズ
図表 管理	トピック単位で「バージョン」と「リビジョン」の管理ができ、 編集画面で過去の呼び出し、閲覧ができる。	●	
ワーク フロー	承認・差し戻し時に、コメントを付加する事ができる。	●	
	承認済のワークフローが、ログイン後に一覧で表示される。	●	
セキュリティ ユーザ 管理 グループ 管理 アクセス 管理	ユーザグループの、追加・変更・削除が管理画面からできる。	●	
	他のユーザ管理システムやディレクトリサーバとの連携ができる。		●
	ユーザグループ毎に、役割とアクセス権限を管理画面から設定できる。	●	
	システム管理者・承認者・編集者・閲覧者等、様々な権限が予め準備されている。	●	
	ログインユーザ単位で、編集制限や閲覧制限を付けることができる。	●	

図6 Publish MakerX 詳細機能一覧 (2)

動作環境

(1) コンテンツサーバー

- 対応OS
Microsoft Windows Server 2008 R2 以上
- 推奨ハードスペック
CPU : Intel® Xeon® CPU X3430 @ 240GHz 以上
メモリ (RAM) : 4GB 以上
HDD : 465GB 以上
- 必須ミドルウェア
Webアプリケーションサーバー : Apache Tomcat 7
JDK1.6
.NET Framework 4
DBMS : NeoCore 3.1.3
Microsoft SQL Server 2008 (R2)

(2) 素材サーバー

- 対応OS
Microsoft Windows Server 2008 R2 以上
- 推奨ハードスペック
CPU : Intel® Xeon® CPU X3430 @ 240GHz 以上
メモリ (RAM) : 4GB 以上
HDD : 465GB 以上
- 必須ミドルウェア
Webアプリケーションサーバー
Microsoft Internet Information Services

Publish MakerX

お問い合わせ

株式会社サイバーテック
セールス・マーケティング部
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-36
S&Sビルディング3階
TEL 03-3513-8000
info@cybertech.co.jp
企業サイト
<http://www.cybertech.co.jp/>
製品サイト
<http://www.publish-maker-x.com/>